

1. 一般事項

一 般 事 項	評 定 番 号	ERI-UIE14014		評定年月日	平成26年11月17日		
	件 名	稚内市立 潮見が丘小学校 校舎 11-1棟					
	申 請 者	株式会社 綜企画設計 札幌支店長 浅野 憲夫					
	診 断 改 修 設 計 者	建 築	株式会社 綜企画設計		既 存 建 物 設 計 者	建 築	株式会社 久米建築事務所
		構 造	株式会社 綜企画設計			構 造	株式会社 久米建築事務所
		監 理	-			監 理	-
		施 工	-			施 工	-
	建 築 場 所	北海道稚内市富岡4丁目3番3号					
	用 途	新規用途： -		既存用途：校舎			
	面 積	敷地面積	- m ²				
		建築面積	- m ²				
		延べ面積	812.00 m ²				
	形 状	建物長さ	X方向（梁間方向） 11.10 m		Y方向（桁行方向） 40.00 m		
		代表的な スパン	7.50m×1 スパン、3.60m×1 スパン		8.00m×5 スパン		
	階 数	地上	2 階				
		地下	- 階				
		塔屋	- 階				
	高 さ	軒の高さ	7.070 m				
		各階階高	1階 3.30 m、2階 3.30 m				
		基礎底深さ	GL- 1.20 m				
	隣接建物	☒ 有 ・ ☐ 無 10棟 (EXP. J 離隔距離：50mm 建物高さとの比：1/139) 11-3側 (EXP. J 離隔距離：50mm 建物高さとの比：1/141.4)					
	建 物 経 歴	設計年月	昭和53年		(変更の規模・状況、火災・震災の経歴) 特に無し		
		竣工年月	昭和53年				
増築・改築		無					
火災・震災		無					
確認番号		不明					
確認年月日		不明					
検査済証の有無		有 ・ ☒ 無					

2. 構造概要

構 造 概 要	構 造 概 要		X方向（梁間方向）	Y方向（桁行方向）
		構造種別	鉄筋コンクリート造	
		骨組形式	耐力壁付きラーメン構造	耐力壁付きラーメン構造
		材料種別	コンクリート：Fc 210 kg/cm ² （既存図面に記載有り） 鉄 筋： 異形鉄筋 ～D16 SD30 D19～ SD35	
	地盤・基礎概要	地盤種別	不明	
		支 持 層	不明	
		基礎・地業	杭基礎	
		基礎工法	RC 杭 φ=300 設計用耐力 20t/本	
	構 造 的 特 徴	構造的特徴	鉄筋コンクリート造地上2階の校舎で、桁行方向、張間方向共に耐力壁付きラーメン構造の建築物である。	
		下階壁抜け柱	有 ・ 無	
		9mを超えるRC造・SRC造大スパン梁	有 ・ 無	
		長さ2mを超える片持ちスラブ片持ち梁	有 ・ 無 R層 6～7通り B軸、R～2層 B通り 6軸	
		コンクリートブロック壁	有 ・ 無 間仕切り等	
		その他	煙突	

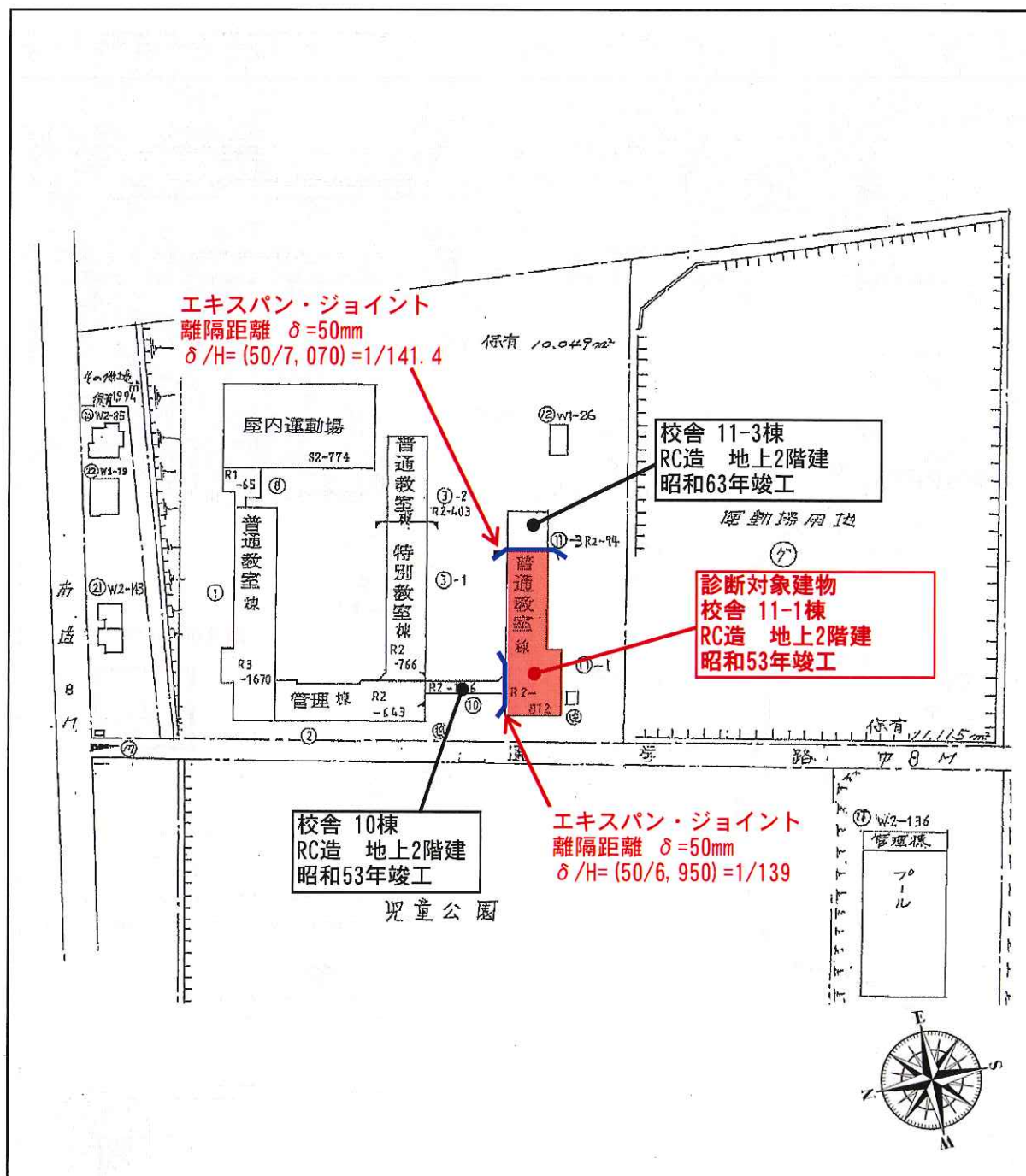
3. 建築物調査概要

建築物調査概要	図書照合	図書の有無	建 築 図 (☒ 有 ・ ☐ 無)	
			構 造 図 (☒ 有 ・ ☐ 無)	
			構造計算書 (有 ・ ☒ 無)	
			地盤調査報告書 (有 ・ ☒ 無)	
	図書との照合	図書との照合	☒ 整合	
			☐ 不整合	
	構造躯体調査	コンクリート	設計基準強度	210kg/cm ² (20.6 N/mm ²)
			診断時強度	(1階) 25.7N/mm ² (2階) 16.3N/mm ²
			圧縮試験強度 (推定強度)	(1階) 27.1N/mm ² (2階) 16.3N/mm ²
			標準偏差	(1階) 1.9N/mm ² (2階) 9.9N/mm ²
			調査個数	6ヶ所 各階3ヶ所
			中性化深さ	調査個数 6ヶ所 各階3ヶ所
				最小値 0.0 mm
				最大値 16.0 mm
				平均値 4.4 mm
		鉄 筋	主筋 (材質)	SD35
			診断時降伏点強度	394 N/mm ²
			横補強筋・壁筋 (材質)	SD30
			診断時降伏点強度	344 N/mm ²
			配筋状態	異常なし
		鉄 骨	鉄骨 (材質)	該当無し
			診断時降伏点強度	該当無し
			ボルト調査結果	該当無し
		外観劣化	目視及び打診調査の結果、壁には乾燥収縮クラックは見られず、仕上材も含めて著しい破損等は特に見られない。	
		不同沈下	不同沈下の兆候は見られない。	
	避難時に支障がある部分の非構造部材の所見		特に無し	
	調査結果についての所見		・ 総合的に大きな問題は見受けられない。 ・ 壁には乾燥収縮クラックは見られなかった。 ・ 調査結果を考慮し、劣化係数を算出し耐震診断に反映するものとする。 ・ 2階のコアについて、1箇所強度が低いコアがあるが、標準偏差を考慮して採用強度を算出しているため、問題ないと判断する。	

4. 耐震診断の概要

[illegible]

1-2 配置図



配置図